

2009年3月期 決算説明

株式会社 **リロ・ホールディング**

2009年3月期 連結業績

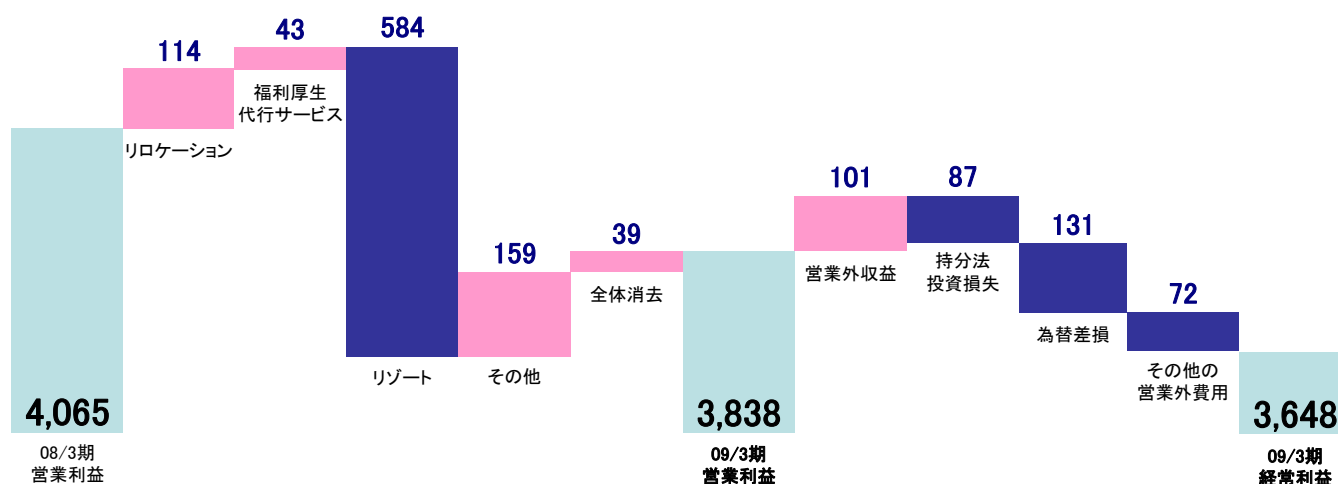
(百万円未満切捨)

	09/3期 実績	08/3期 実績	前年比	09/3期 計画	計画比
営業収益	88,305	79,535	+11.0%	88,000	+0.3%
営業利益	3,838	4,065	▲5.6%	3,900	▲1.6%
経常利益	3,648	4,039	▲9.7%	3,600	+1.3%
当期純利益	1,908	2,102	▲9.2%	2,000	▲4.6%
EPS	128円	139円	▲7.6%	134円	▲4.6%
年間配当金	37円	34円	+8.8%	37円	—
ROE(%)	14.7%	18.1%	—	15.4%	—

(百万円未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	09/3期	08/3期	前年比	09/3期	08/3期	前年比
リロケーション	76,239	67,301	+13.3%	2,222	2,107	+5.4%
福利厚生代行	8,280	7,895	+4.9%	2,064	2,020	+2.2%
リゾート	2,492	3,361	▲25.9%	119	703	▲83.0%
その他	1,293	976	+32.5%	351	191	+83.2%
連結消去	—	—	—	▲919	▲959	—
連結	88,305	79,535	+11.0%	3,838	4,065	▲5.6%

- ◆「リロケーション事業」と「福利厚生代行サービス事業」はストック性の高い事業構造が活き、堅調に推移
- ◆個人消費低迷の影響により、「リゾート事業」は新規会員の獲得が不振



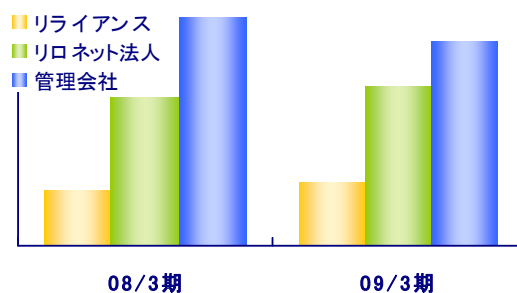
- ◆「リゾート事業」の不振を他の3事業でカバーしきれず営業減益
- ◆営業外において、持分法投資損失や為替差損などを計上

<管理戸数>

	09/3期	08/3期	増減
リライアンス	53,503	48,311	+5,192
一般賃貸管理	8,869	9,094	▲225
サブリース	1,964	1,733	+231
その他(管理人派遣等)	6,645	6,119	+526
合計	70,981	65,257	+5,724

<顧客・取引先企業数>

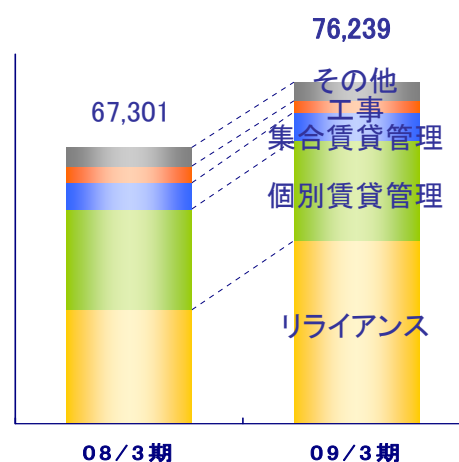
	09/3期	08/3期	増減
リライアンス社数	155	136	+19
リロネット			
法人	387	362	+25
管理会社	500	552	▲52



<分野別営業収益 内訳>

(百万円未満切捨)

	09/3期	08/3期	増減
営業収益	76,239	67,301	+8,938
リライアンス	54,738	45,493	+9,245
個別賃貸管理	13,731	13,477	+254
集合賃貸管理	3,708	3,527	+181
工事	1,448	2,270	▲822
その他(消去含む)	2,612	2,532	+82
営業利益	2,222	2,107	+115



福利厚生代行サービス事業セグメント

<関連指標>

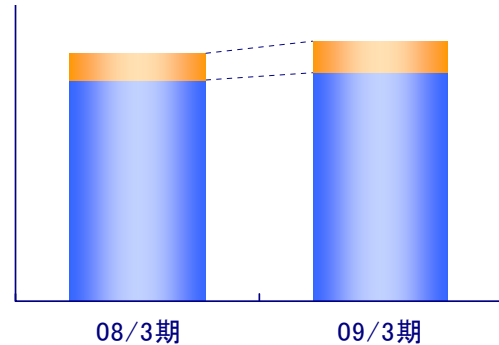
	09/3期	08/3期	増減
契約社数	7,922社	6,621社	+1,301社
会員数	229万人	191万人	+38万人
内 ライトプラン	116万人	82万人	+34万人

<分野別営業収益 内訳>

(百万円未満切捨)

	09/3期	08/3期	増減
営業収益	8,280	7,895	+385
福利厚生倶楽部	7,280	7,064	+216
クラブオフ	1,000	831	+169
営業利益	2,064	2,020	+44

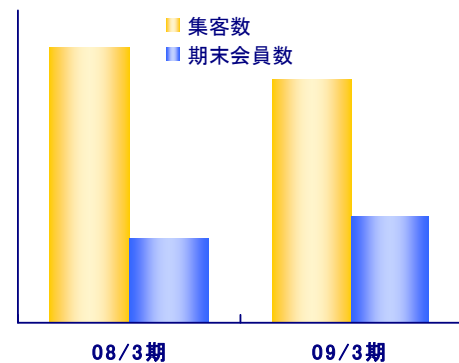
■ クラブオフ
■ 福利厚生倶楽部



リゾート事業セグメント

<関連指標>

	09/3期	08/3期	増減
集客数	9,378	10,557	▲1,179
期末会員数	4,030	3,269	+761



2010年3月期 計画

2010年3月期 連結業績予想

(百万円未満切捨)

	10/3期 計画	09/3期 実績	増減	前年比
営業収益	95,000	88,305	+6,695	+7.6%
営業利益	4,100	3,838	+262	+6.8%
経常利益	4,150	3,648	+502	+13.8%
当期純利益	2,250	1,908	+342	+17.9%
EPS	148円	128円	+20円	+15.8%
年間配当金	38円	37円	+1円	+2.7%
ROE (%)	15.7%	14.7%	—	—

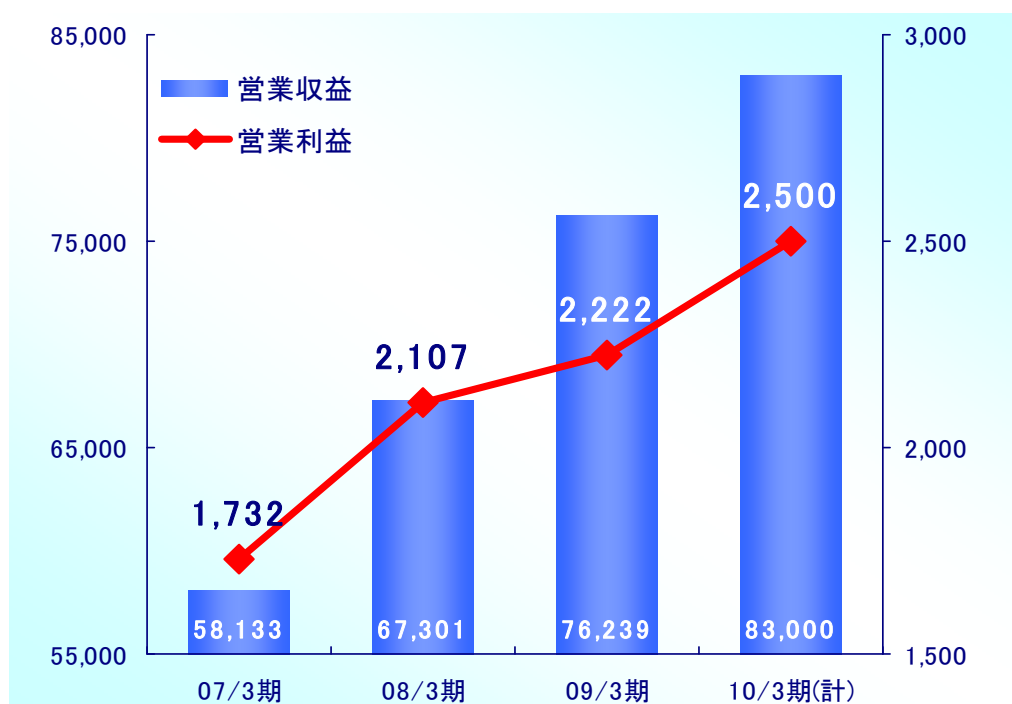
* EPSは現在の発行済株式数(除く自己株式)で算出

(百万円未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	10/3期 計画	09/3期 実績	増減	10/3期 計画	09/3期 実績	増減
リロケーション	83,000	76,239	+6,761	2,500	2,222	+278
福利厚生代行	8,400	8,280	+120	2,100	2,064	+36
リゾート	2,100	2,492	▲392	100	119	▲19
その他	1,500	1,293	+207	370	351	+19
連結消去	—	—	—	▲970	▲919	▲51
連結	95,000	88,305	+6,695	4,100	3,838	+262

リロケーション事業

-2010年3月期計画-



-2010年3月期 管理戸数計画-

	09/3期	10/3期 計画
リライアンス	53,503	60,000
一般賃貸管理	8,869	9,000
サブリース	1,964	2,000
その他(管理人派遣等)	6,645	7,000
合計	70,981	78,000

- ◆ 人事政策の一つである住宅制度や異動に関する施策は、景況悪化による直接的な影響を受け難く、むしろ、運用の効率化を求められ、それらを支援するアウトソーシングサービスにとっては後押しとなることを想定
- ◆ 期間従業員などの間接的被雇用者や、仲介・工事といった事業を取り巻く環境は低迷

＜リライアンス＞

- ◆ 業務効率化のニーズが後押しとなり、約6,500戸の積み増しを計画。引き続き当事業を牽引
- ◆ 大手電子部品メーカーや大手総合印刷業者など、仕掛かり案件を順調に積み増し。また、中堅・中小企業における需要も堅調で、引続き新規顧客の獲得を進めると共にリプレイス提案も展開
- ◆ 製造派遣業の一部顧客における解約は、ほぼ収束の様相を呈しているものの、今期は慎重に見込む
- ◆ 契約書類の電子化や繁忙期における人件費など、引き続きコスト削減に注力

<リロケーションサービス>

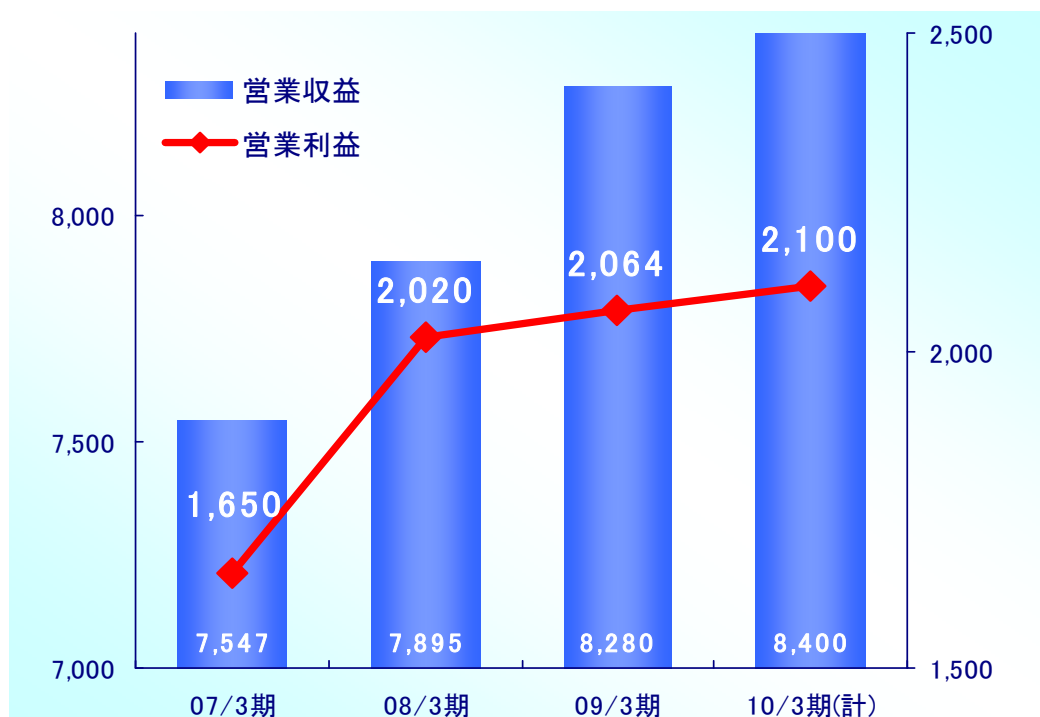
- ◆ 物件管理の申込数はほぼ例年通りの推移。転勤における環境の影響は軽微
- ◆ 前下期に、転勤留守宅管理サービスと海外赴任業務支援サービスを統合。海外赴任に関するビジネスに、物流系の競合が参入する中、住宅管理を含めたサービスを総合的に提供することで他社との差別化を図る
- ◆ 海外赴任業務支援サービスにおいては前期末までに約100社が導入。今期は統合効果を背景に40社の獲得を計画。また、転勤留守宅管理サービスにおいても法人営業を積極化し、貸したい・借りたいニーズを掘り起こす

<その他>

- ◆ 企業が所有する寮の管理においても、効率化を背景として、管理人の直接雇用からアウトソーシングへのシフト需要が伸張
- ◆ 新規採用や設備投資の抑制などの影響により、集合寮の仲介や関連する工事などにおいては、グループ内の案件に注力
- ◆ 前期に計上した北米における評価損約60百万円は、今期は影響せず

福利厚生代行サービス事業

-2010年3月期計画-



＜福利厚生倶楽部＞

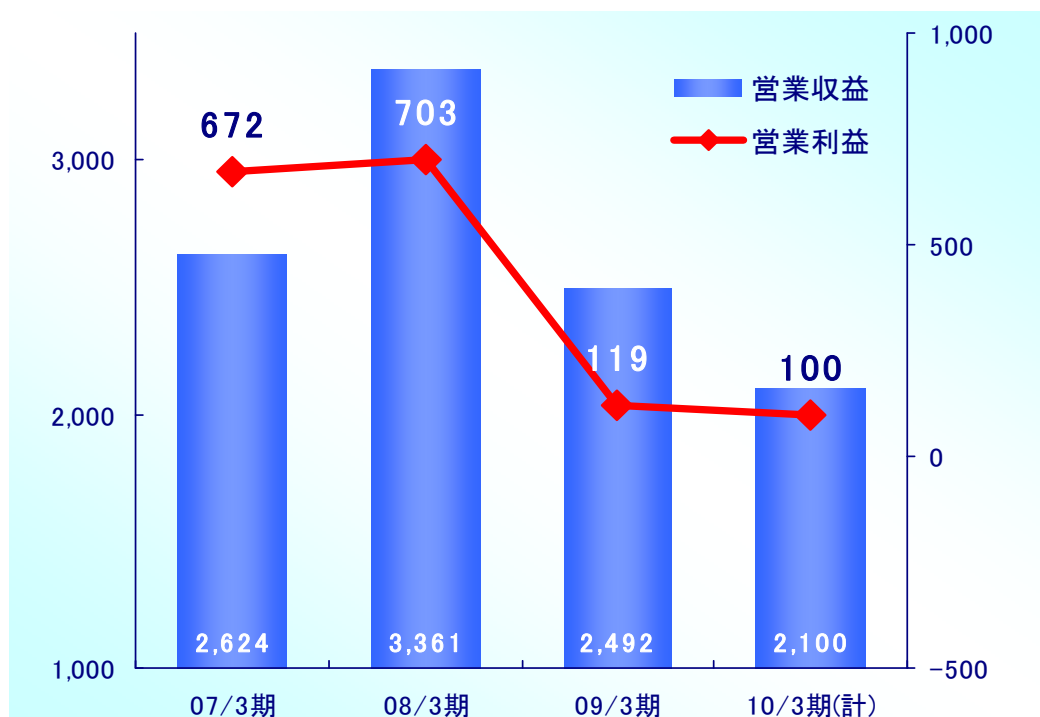
- ◆ 会員企業の退会や休会の傾向は沈静化
- ◆ 底堅い需要を見込む中堅・中小規模の新規顧客とリプレイス案件の獲得に引き続き注力
- ◆ 既存顧客への退会防止策として、フォロー営業と利用促進を強化
- ◆ 会報誌などといった媒体への広告掲載料など、会費収入以外の収益の多角化を推進。前期比5%の増収を計画

＜クラブオフ＞

- ◆ 前期末までに「地銀連合」の約30行と提携。今期は期初から寄与。
- ◆ 地域別のメニューや、“富裕層向け”などといった利用対象者を絞ったメニューなどの開発を推進。地域密着型企业や、特定の顧客層(利用者)の囲い込みを睨む企業などへのサービス提供を促進
- ◆ サービスの付加価値を高めるための、積極的な提案型フォロー営業に注力

リゾート事業

-2010年3月期計画-



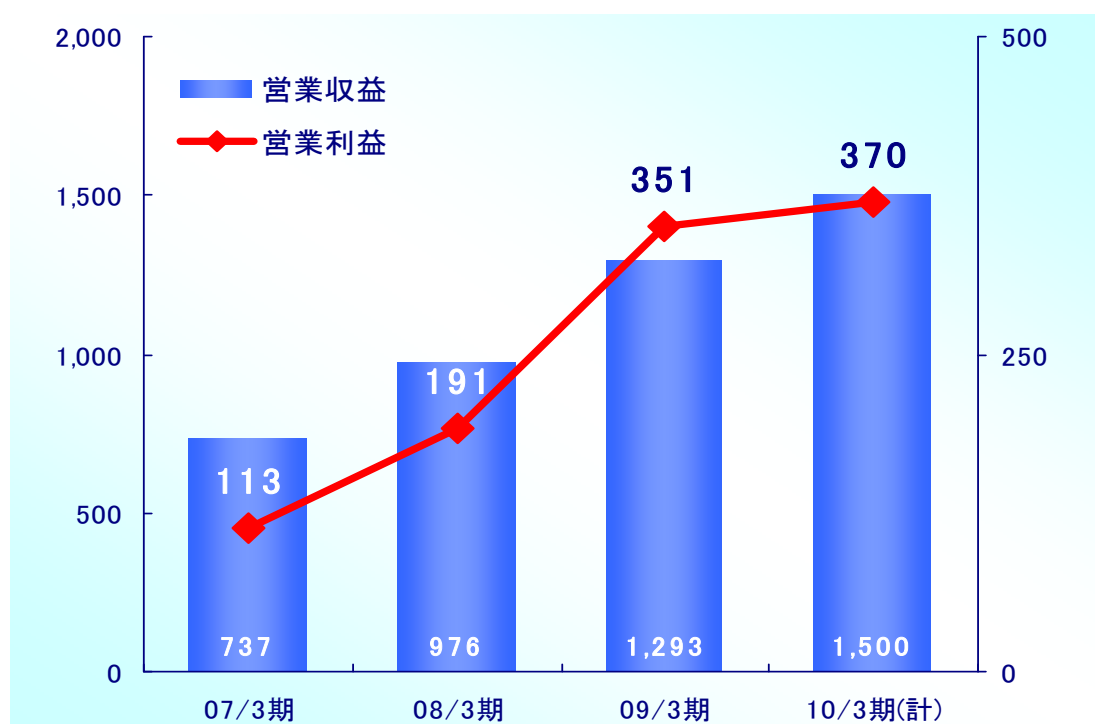
<関連指標>

	09/3期	10/3期 計画	増減
集客数	9,378	10,000	+622
期末会員数	4,030	4,680	+650

- ◆ 今期も個人消費の低迷が続くと予想し、上期は前期を下回るものの通期においてはほぼ横ばいの業績を計画
- ◆ 効率的な集客を行うため、メールDMなどの対象顧客の分析、セグメントを強化。また、ペット帯同者など、比較的反応の高い特定層の取り込みに注力
- ◆ コスト面においては、引続き商業施設などでの集客を高めることで、一層の削減を進め収益力を向上
- ◆ 収益の多角化を狙い、既存会員に対するサービスを拡大。食事、軽食を提供する「リロダイニング」を開始。また、UPG(ポイントの買増)の促進として、新施設(賃貸)の開設を目論む

その他の事業

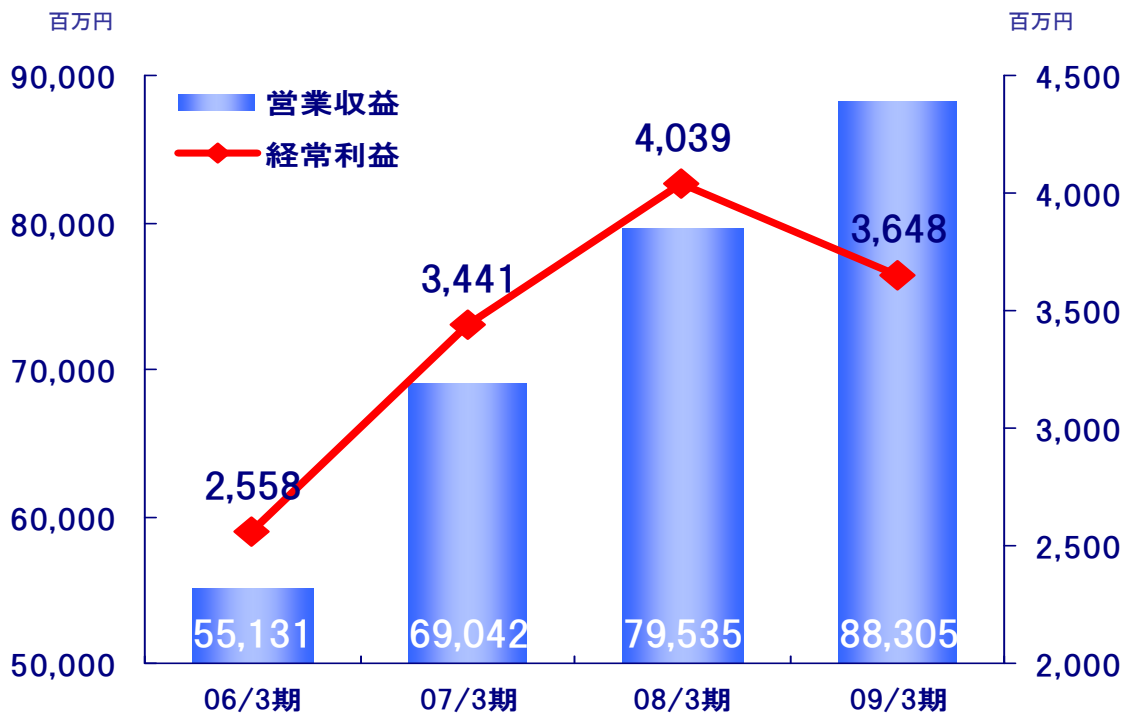
-2010年3月期計画-



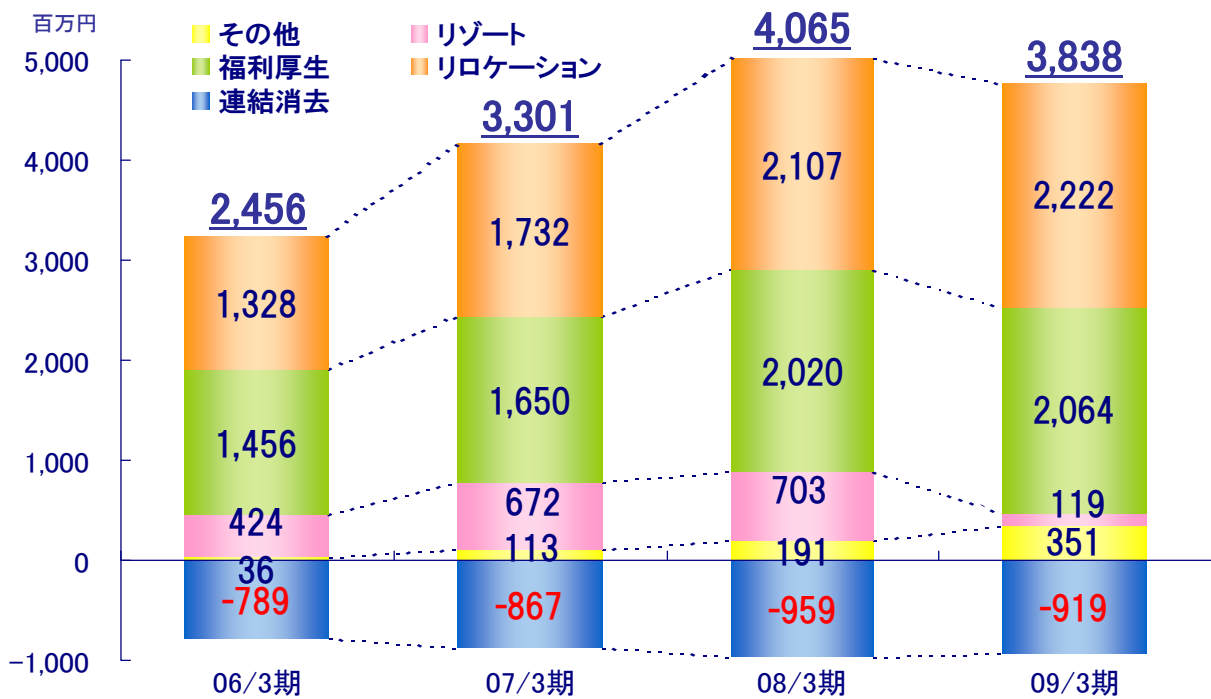
- ◆ 今期も「リライアンス」の管理戸数増加に伴い、「リロ補償」が伸張。しかしながら、前期は再保険事業における支払準備金積み立ての料率改定が業績へ寄与したが、今期は織り込んでいないことから増益ペースの落ち着きを見込む
- ◆ 保険販売において他セグメントの営業部門との連携を強化。グループ内リソースに潜む各種保険ニーズの掘り起こし。また、少額短期保険分野においては従来の代理店営業に加え、各種団体向けの制度導入型営業を推進

2009年3月期 連結 参考資料

連結業績推移



セグメント別 営業利益推移



* 下線数字は連結営業利益

2009年3月期 連結貸借対照表

資産の部				負債・純資産の部 (百万円未満切捨)			
	09/3期	08/3期	増減		09/3期	08/3期	増減
流動資産	15,495	14,425	+1,069	流動負債	12,418	11,928	+490
現金及び預金	3,225	3,021	+204	営業未払金	1,644	1,717	▲73
営業未収入金	3,916	3,467	+449	短期借入	1,282	2,480	▲1,197
棚卸資産	543	1,008	▲465	長期借入(1年以内)	485	31	+453
① 販売用不動産	414	801	▲386	未払金	517	483	+33
貯蔵品	128	207	▲78	前受金	6,838	5,975	+863
② 前渡金	5,246	4,628	+618	未払法人税等	759	374	+384
営業貸付金	1,472	1,019	+453	その他	374	380	▲5
前払費用	348	444	▲95	固定負債	7,152	3,824	+3,327
繰延税金資産	156	183	▲26	長期借入	3,393	-	+3,393
その他	584	653	▲68	預り金	3,607	3,625	▲17
固定資産	17,646	13,814	+3,831	その他	150	199	▲48
有形固定資産	4,333	4,669	▲336	負債合計	19,571	15,752	+3,818
建物	2,909	3,133	▲223	純資産	13,570	12,488	+1,082
建物	3,701	3,687	+14	資本金	2,561	2,561	+0
建物累計償却額	▲792	▲553	▲238	資本剰余金	2,754	2,754	+0
土地	1,029	1,061	▲31	利益剰余金	8,860	7,564	+1,295
その他	394	474	▲80	自己株式	▲1	▲1	+0
無形固定資産	933	1,161	▲227	新株予約権	4	-	+4
投資その他の資産	12,378	7,984	+4,394	評価換算差額等	▲646	▲430	▲216
投資有価証券	4,332	990	+3,341	再評価差額金	▲426	▲426	+0
② 敷金及び保証金	6,835	5,760	+1,075	有価証券評価差額金	4	10	▲5
繰延税金資産	307	274	+33	為替換算調整勘定	▲225	▲14	▲210
その他	903	958	▲55	少数株主持分	36	38	▲2
資産合計	33,141	28,240	+4,900	負債純資産合計	33,141	28,240	+4,900

- ①北米の販売用不動産を販売及び減損により圧縮。棚卸資産が減少
- ②リライアンスの管理戸数増加により、前渡金、前受金、敷金及び保証金が増加

2009年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

	(百万円未満切捨)	
	09/3期	08/3期
営業キャッシュフロー	1,850	1,394
税金等調整前当期純利益	3,493	3,426
減価償却費	721	689
敷金及び保証金の増減額	▲1,075	▲1,114
法人税等の支払額	▲1,268	▲1,827
その他	▲19	220
投資キャッシュフロー	▲3,903	▲1,503
有形固定資産取得による支出	▲144	▲1,210
ソフトウェア取得による支出	▲129	▲358
関係会社株式の取得による支出	▲3,473	▲140
その他	▲156	205
財務キャッシュフロー	2,139	337
短期借入金の純増減額(▲は減少)	▲1,101	732
長期借入による収入	4,000	-
長期借入金の返済による支出	▲145	▲29
株式の発行による収入	-	58
配当金の支払額	▲515	▲423
その他	▲98	-

- ◆日本ハウズイング(株)の株式取得により、関係会社株式の取得による支出と、長期借入による収入が増加

経営企画室 企画IRグループ：北村・宇佐見

TEL: 03-5312-8704 FAX:03-3225-9714

E-Mail: ir@relo.jp

URL : <http://www.relo.jp>

本資料は、2009年3月期(第42期)決算に関する情報提供を目的としており、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

また、本資料は2009年3月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。